

第10回まちづくりシンポジウム

日 時 平成22年2月13日(土)午後2時から
会 場 越谷市中央市民会館 劇場
共 催 越谷市コミュニティ推進協議会 越谷市

プログラム

1 開 会

2 あいさつ

3 事例発表

① 桜井地区コミュニティ推進協議会

「憩える自然につつまれた、住みよいいふれあいのまち桜井」の実現のために

発表者 五野上 卓 氏・千野 俊一 氏・池上 文男 氏

② 出羽地区コミュニティ推進協議会

出羽地区コミ協の環境活動

…出羽公園の緑化活動と川（用水）の清掃活動…

発表者 河上 繁 氏・浜野 学 氏

③ 川柳地区コミュニティ推進協議会

人と緑が輝く川柳環境美化運動について

発表者 坊野 敦子 氏・上坂 邦男 氏・渋谷 利夫 氏

花里 智美 氏・PC操作：豊田 久恵 氏

④ 大相模地区コミュニティ推進協議会

こいのぼりフェスタについて

発表者 戸巻 正 氏・秋山 良雄 氏

⑤ 北越谷地区コミュニティ推進協議会

北越谷の環境歳時記

発表者 大山 武男 氏

⑥ 越ヶ谷地区コミュニティ推進協議会

自然ウォッチング&クリーン作戦

発表者 杉山 純子 氏・富沢 二三子 氏

⑦ 南越谷地区コミュニティ推進協議会

環境に対する取り組み

発表者 松居 弘道 氏・喜友名 孝子 氏・早水 誠治 氏

4 質 疑

5 閉 会

南越谷地区コミュニティ推進協議会

事業名	南越谷地区自治会一斉清掃
実施部会	環境・衛生部会
事業目的・内容	<p>(目的) 地区自治会で一斉に地域の清掃活動を自ら行うことで、地区の環境衛生と自治会員のコミュニティの醸成を図ることを目的とする。</p> <p>(内容) 各自治会の範囲で、公道にあるゴミを拾い、燃えるゴミ、燃えないゴミに分別・収集し指定の場所に運び、その処理を依頼する。また、不法投棄物は品目と場所を報告し、その処理を依頼する。</p>
実施日	年に2回 概ね9月と3月 継続
参加人数	約500人
事業効果	清掃活動を行うことで、地域住民が住民自身の手で、「きれいなまちづくり」に参加してもらう。
今後の事業展開	継続して進める。広報紙などでその結果を報告する。

南越谷地区コミュニティ推進協議会

事業名	花いっぱい運動
実施部会	環境・衛生部会
事業目的・内容	<p>(目的) 南越谷地区の清掃・緑化活動を通じて快適な地域環境を作り、地区住民に「きれいなまちづくり」の意識を深める。</p> <p>(内容) 県道鳩ヶ谷別府線側道の花壇に年2回の花植えと年1回の清掃および駅頭で花苗を配布する。</p>
実施日	年に3回、概ね6月、11月、3月 継続
参加人数	延べ450名
事業効果	花いっぱい運動を通じて、地域を美しく・明るく・住みよくし、また花を通じて人々の気持ちを豊かにする。
今後の事業展開	実施場所、参加者、実施方法などを更に検討しながら、継続して進める。

南越谷地区コミュニティ推進協議会

事業名	ボトルキャップ回収事業
実施部会	総務部会
事業目的・内容	<p>(目的)</p> <p>「ペットボトルのキャップで世界の子どもにポリオワクチンを届けよう」とのエコキャップ推進協会の活動に賛同し、南越谷地区としてペットボトルキャップの回収を行う事と併せて可燃ごみの減少を目的とする。</p> <p>(内容)</p> <p>地区センターの窓口にて、地区内よりペットボトルキャップを収集。回収基準に達したら、専門業者に回収依頼をする。エコキャップ推進協会からは、回収分についての個数・重量、ワクチン購入可能分などを記載した受領書を受け取る。協力者にお礼と報告を掲示し、以降の収集につなげる。</p>
実施日	平成21年4月1日～平成22年3月31日 以降も継続
参加人数	南越谷地区住民、コミ協構成団体、南越谷地区センター利用団体他
事業効果	地区全体での世界規模の福祉協力と地球の環境問題（CO ₂ 削減）への取り組みは住民間の絆を深める。
今後の事業展開	継続して進める。掲示、広報紙などで協力された方に感謝の意とその結果を報告する。

自己紹介

こんにちは、南越谷地区コミュニティ推進協議会の発表を致します。

最初の2つの事業を私 松居が、それ以降を喜友名が説明し、プロジェクターを早水が担当します。どうぞ、よろしく、お願いします。

南越谷地区のあゆみ

本題に入る前に、南越谷地区のあゆみを簡単に、ご紹介します。

南越谷地区コミ協は、平成6年2月に設立し、平成14年10月まで現在の交流館を拠点としました。翌11月から現在まで、地区センターで活動しています。

南越谷の人口は、概数でグラフの通りの人口となっています。

また、航空写真から見た地域の変化は昭和52年、平成3年、平成14年と建物が大幅に増えています。7年経過した現在、写真下の地域は、区画整理で目を見張るものがあります。

環境への取り組み

それでは環境への取り組みをレジメに沿って、ご説明します。

1の「地区コミ協の活動」では、3つの事業を

2の「地区全般の活動」では、活動内容と課題を

3の「地区の課題」では2件について、ご説明します。

1. 南越谷地区自治会一斉清掃

一番目の事業、地区自治会一斉清掃の立ち上げは平成6年で

きっかけは、越谷市自治会連合会の話し合いの中で実施の機運が起きたと伺っています。

実施は1年に2回行なっています。

実施の流れは大きく2つに分かれます。その一つは、平成6年から9年に掛けでは、重点清掃場所を設定して行ないました。

その例が次の画面です。

- ・重点清掃場所です。
- ・ゴミの回収場所です。

平成7年、8年に掛けて「ゴミ・空カンなげすて禁止」の表示板を設置しました。

30本の立て看板を用意し、各自治会に配布しました。これが当時の写真で、次の写真が現在残っている看板です。

これからの写真は、平成6年～9年に実施したときの様子です。特に、この期間は放置自転車とバイクが多く、その作業も大変でした。平成18年から不法投棄物については、その場に置いて物品名と場所を申請するようになりました。

次に平成10年から現在までの流れです。

各自治会長に実施案内から要項に至る詳細を配布しまして、まとめまで行ないました。

これが案内状と実施要項です。

実施した結果、当日の収集場所別ゴミ収集量です。

次に不法投棄物の物品名と放置場所で、これに次のFAX表紙を付けて市役所環境美化係に依頼します。

次に昨年の3月に行ないました一斉清掃の様子をご覧ください。

これが「地区自治会一斉清掃」の実施経過です。

今後の取り組みとしましては、引き続き継続しながら、気づいたところを改善していきたいと考えています。また、広報紙を通して、情報を発信して行きます。

花いっぱい運動

続いて2番目の事業「花いっぱい運動」をご説明します。

この運動のきっかけは、先進地訪問研修会 日立市に伺った時、その清掃と花植えに共感したと、コミュニティフォーラム「花と緑の庭・まちづくり」を聞いたことがきっかけとなりました。

平成9年5月花植えの案内をボランティアとコミ協会員に出しまして、6月に第一回目を実施しました。

実施内容の 場所は、県道 鳩ヶ谷別府線の緑地帯で、

初期の参加者は、ボランティアとコミ協会員でした。

花の種類は、季節に応じて公園緑地課より提供してもらっています。

花植えエリアと花壇の位置です。

実施の流れは

準備として花と用具

①～⑧の手順で作業を行います。作業の説明を、初めの頃は、花壇の近くにある空き地で行ない、現在は地区センター前で行なっています。

ひまわりコンテスト

花いっぱい運動と併行して、ひまわり写真コンテストを平成9年と10年の2回行ないました。

その年の春 自治会毎にひまわりの種を配布して、各家庭で育てもらい、その写真を出展して頂きました。11月の文化祭で審査をしまして、5名の方を入賞としました。

その写真が、ご覧の通りです。

平成15年3月から現在まで、富士中学校の生徒・職員・PTAとコミ協 環境衛生部担当に変わりました。

南越谷地区センターだより「パレット通信」と広報紙で実施のお知らせをしています。

始めてから数年間、折角植えたばかりの花を抜いて持ち去る人がいて、がっかりでした。そこで花壇を縁石で囲い、その中央に看板を立てることにしました。その後抜いて行く人がいなくなりました。

また初めの頃は、水を花壇の近くより、もらっていましたが、給水タンクを寄付された方がいまして、大変便利に使っています。植えた後に、付近の人達が水やりもしてくれるようになりました。

実施経過は表の通りです。

現在行なっている、花植えと花の配布状況を動画をご覧ください。

今後の取り組み

基本的には継続しながらも、場所、参加者、方法について検討していきたいと考えています。

ボトルキャップ回収

「ペットボトルのキャップで世界の子どもにポリオワクチンを届けよう」とのエコキャップ推進協会の活動に賛同し、ペットボトルキャップの回収を行い、併せて可燃ゴミの減少を目指すことにしました。実施のきっかけは、平成19年11月26日付け「東武よみうり」の記事を目にした事でした。これなら誰も、すぐに協力できそうだと。

開始は、平成19年12月からで、コミ協会員には文書でお知らせし、回収の主旨を理解して頂きました。

回収の流れは、図の通りです。

回収協力者は、次の通りで、中には匿名で、遠方から2,3箱送ってこられるところもあります。

地区センターに回収ボックスが置かれていまして、誰でも入れることが出来ます。

エコキャップ推進協会からは、このような受領書が届きます。

ボトルキャップの回収記録は、表の通りで現在までに40回受け取って頂きました。

この記録を項目別にグラフにすると次のようになります。

1つ目は、「回収数量累計の推移」です。約170万個

2つ目は、「ワクチン累計人数分の推移」です。約2,100人分に当たります。

3つ目は、「CO2削減累計重量」の推移です。約13トンになります。

続きましてペットボトルキャップリサイクルの流れを動画でご紹介します。

1年4ヶ月が経った頃、気づいたら回収量が増えていて、思いがけず感謝状贈呈の案内が届きました。

地区内には広報紙で報告致しました。部門別で上位3位以内に入りました。

今後も回収の取り組みを継続していきます。

そして、その結果をお知らせする事で、エコ活動に参加出来る意識と、更に回収の輪を広げていきたいと思えます。

地区の現状

これから地区の現状を3項目に分けて、ご説明します。

1つ目は、環境への認識

2つ目は、地区全般の活動

3つ目は、地区の課題です。

1つ目の「環境への認識」は

平成19年に実施しました「地区まちづくりアンケート」から、環境に対する皆さんの認識度をご紹介します。

612名の方から回答を頂きました。

「住むようになった理由」の「生活環境」では、

その他を除くと4番目に「街がきれい」がきています。

「環境づくりに協力できること」では

清掃美化に協力できるご意見が4割を占めています。

「コミ協活動への参加」では

3番目に「地区一斉清掃」で、富士中の生徒が参加している「花いっぱい運動」もあります。

2つ目の「地区全般の活動」では、

各自治会に清掃・美化ついて、お聞きしました。

それを要約したものが次の通りです。

出された課題は次の通りです。

病院、企業、学校、個人の環境美化活動の

調査範囲では次の通りです。

その一部を写真でご覧ください。

病院の職員の皆さんです。

企業の方も毎朝、清掃しています。

小中学生によるクリーンパトロールです。

3つ目の「地区の課題」で

2つを挙げさせてもらいます。

一つは新越谷駅西口 ロータリーで

緑地帯と周辺の整備です。

もう一つは、出羽堀について

管理と活用を取り上げました。

結び

最後に、私たちのコミ協活動でできることは

人と人との繋がりを大切にすることにあると思います。

近所付き合いを大切に

コミュニティ活動に若者が参加しやすい環境に

世代間交流を促進することなど、

環境について、できることから取り組んで行きたいと思っています。

これで、南越地区コミュニティ推進協議会の発表を終わります。